

よしだ たつひろ
 有限会社阿部仏壇製作所 代表取締役社長 吉田 達洋 氏

伝統を守り未来につなぐものづくり で木の魅力を発信



PROFILE

1981年新潟生まれ。長岡造形大学でプロダクトデザインを学び、卒業後は新潟県内のデザイン事務所に就職。DTP※デザイナーとなって3年後、先代である父の病気がきっかけで、仏壇木地師の道を歩もうと決意入社。2017年から代表取締役社長を務める。

※ DeskTop Publishing (デスクトップパブリッシング)の略

長年培ってきた仏壇の製造技術を基に、オーダーメイドの家具や雑貨、他社のオリジナル商品まで手掛ける阿部仏壇製作所。自社ブランドの設立など、さまざまな挑戦を続けながら木製品の魅力を伝える吉田社長に、ものづくりへの熱い思いを伺いました。



有限会社阿部仏壇製作所

〒950-0807
 新潟市東区木工新町372-10
 TEL 025-275-7801
 FAX 025-275-7802
 URL <https://www.kougi-but Sudan.com/>

商品開発は頭をクリアにしてから
考えます。

固定観念に縛られていると
良いものはできません



仏壇などの木地づくりに欠かせないのが、さまざまな種類の鉋かん。約50年前に建てられた工場内には昔から使われている道具が数多くあり、今も伝統の技術を支えている

仏壇づくりの技術を活かし 幅広い木製品を製作

70年の歴史を持つ阿部仏壇製作所は、仏壇の基礎を担う木地屋として創業。時代の流れとともに安価な海外生産品が主流になっていく中、同社では純国産にこだわり、個人客の注文を受けて仏壇を製造・販売する一貫体制に移行してきた。

「自社のお仏壇のみを販売するだけでなく、木地と塗りの両方を手掛けている会社は全国でも珍しいと思います」と語るのは、木地師で3代目の吉田社長。さらに10年程前からは仏壇づくりの技術を活かし、オーダーメイドの家具や雑貨など幅広い木製品を製作している。「私がこの仕事を始めた当時は、先代である父が亡くなり、経営的にも厳しい状況でした。会社をなんとかしなければ、これまでの伝統は守れないと考え、お客様からのさまざまな依頼を受けるようになったのです」。

生活を豊かにする オリジナル雑貨ブランドを設立

こうして実績や経験を積み重ねてきた同社は、2011年にオリジナル雑貨ブランド「KOUGI」を立ち上げる。「これまで応援してくれたお客様に喜んでほしいという感謝の気持ち。そして海外製品に押され、影の存在になっている木地が主役になるような商品を作り、発信していきたいという思いもあり自社ブランドを作りました」。

KOUGIのコンセプトは、仏壇と同じように10年後、20年後でも修繕しながら使えるもの。箸

置きやコースター、ティッシュケースなど、生活に役立つアイテムを良質な木材を使って手作りしている。「仏壇の技術を活かしていますが、あくまでも暮らしの中の道具なので、使いやすく耐久性が高いものを作ることを大切にしています」。また日用品以外でも、オーダーメイドで子どもの名前を入れられる「おなまえ積木」は、出産祝いなどのギフトとして好評だ。

時代のニーズに合った商品を作りたい

近年は、現代のライフスタイルに合わせた「新しい祈りの空間」を提供する手元供養台を開発。さらに、企業の商品開発の協力や注文生産も増えてきている。「ものづくりに対する基本的な考えは今後も変わりませんが、時代のニーズに合ったものを作りたい。その時々で、当社のコンセプトがどこまで通用するのか模索していきます」。

木やものづくりの大切さを身近に感じてもらう「木育」活動も行うなど、多彩な取組を通して木の魅力を伝えている同社。丁寧な手仕事から生まれる木製品は、時代を経ても生活の中にやすらぎと温もりを与えてくれるだろう。



KOUGI 箸置き